

のぼりバツ

広報

●第31回カルルス温泉スキーまつり

青空の広がった3月5日。第31回カルルス温泉スキーまつりが、サンライバスキー場で開かれました。

少年滑降大会や宝探し、雪中ミカンひろいが行われる中、ポブスレー大会では横一列に並んだ親子10組が、50メートルほどのコースを滑り楽しそうに歓声をあげていました。



特集

- ◆平成7年度市政執行方針
- ◆新年度予算
- ◆平成7年度教育行政執行方針
- ◆行政改革に取り組みます
- ◆さらに
- 富良野塾に入塾
- 羽立喬介さん

4/1
1995
No.534

市政執行方針 (要旨)



市政執行方針を発表する上野市長

2月27日開会した平成7年第一回定例会で上野市長は市政執行方針を説明しました。

市長は、「景気低迷の中、基幹産業の観光入り込みが減少し、予断を許さない状況にあります。大型店「サテイ」、幌別地区商店街の核店舗「アーニス」がオープンし、市内の購買力流出の歯止めと新たな商業環境の形成が進んでいます。また、畑中産業グループ、UCC、コカ・コーラ、室蘭バルス電子、ナガワなど新たな企業の進出や民間の宅地開発が進められ、厳しい中にも登別市らしい地域活性化の芽が育ちつつあります」と、説明し、「この芽を大切に育て、将来の発展につなげるため引き続き最善の努力を重ねます」と、決意を表明しました。

今月号では、登別市がこの一年間どのようにまちづくりを進めて行くか市政執行方針、教育行政執行方針、新年度予算をお知らせします。

登別らしい地域活性化の芽を大切に育て、将来の発展につなげます

当面する5つの課題

第1

不況対策

地域活性化の芽を確かなものとするため市内経済の下支えを行い、公共事業の優先確保と適正執行に努めます。

進出意向を示している事業所などに対し、情報提供や土地のあっせんなど進出しやすい環境づくりに努め、企業誘致活動をねばり強く展開します。

地場産業の育成と地場企業の活動を支えるため支援策を引き続き推進するほか、7年度は新たに中小企業特別融資制度の融資対象を拡大します。

食品加工業の振興と地域特産物の販売促進を図るため「食品フェア195インのほりべつ」の開催を支援します。

厳しい環境にある水産業は、前浜でとれる新鮮な水産物を鮮度の良い状態で市場に送るため活魚貯

蔵設備を備えた「水産物荷捌き施設」の建設を支援します。

観光は、各テーマパークや登別観光協会と一体となって「まるごと登別」の売り込みを図り、海外や道内客を対象とした誘客活動を

強化します。

地場産業を守り育てるため、商工会議所と緊密な連携をとりながら異業種交流などを支援し、地元企業への工事発注や地元調達に努めます。

第2

財政運営

歳入面では、市税収入が地域経済の動向や所得減税の影響を受け、大きな伸びが期待できないことや、地方交付税も国税収入の低迷から厳しい状況が見込まれます。

歳出面では、義務的経費の増加、景気対策や産業振興対策、道路や下水道など都市基盤の整備、福祉対策の充実などの課題や老朽化の進む公共施設の補修、土地開発公社や登別振興公社の債務解消の取り組みが求められています。



▲4月3日から業務開始する北海道コカコーラボトリング室蘭登別統括営業所と、6月完成を目指し工事着工したレンタル業のナガワ(緑町1丁目)



▲本年1月6日から住民記録オンラインシステムがスタート

このような厳しい財政環境を踏まえ、既存の制度、施策の見直しと徹底した経費の節減合理化に努め、財政の健全化に配慮し財政調整基金の活用を図って可能な限りこれらの課題に対処しました。

このため、新最終処分場、中間処理施設、リサイクルセンターの施設整備計画、固定資産税の課税明細発行のための電算システム、優れた文化やスポーツイベント鑑賞機会の充実と各種施設管理の効率化を目指した「文化・スポーツ財団」の設立、さらには教育施設の整備と生涯教育の振興に重点を置きました。

第3

行政改革

市は、これまでも行政ニーズに適切に対応するため組織機構の見直しをはじめ事務経費の節減、事務事業の精査などを行ってきましたが、21世紀を展望した新たな行政システムの再構築を行うための行政改革に取り組みます。

多様化、増大化する市民ニーズに対応したサービスを展開するため行政事務の迅速化や効率化を図ることが緊急の課題であり、これまで事務のOA化に取り組んできましたが、本年1月、住民記録オンラインシステムがスタートし、選挙事務システムが稼働しました。7年度は固定資産税・国民年金システムを再構築し、住民記録システムと融合させた新システムの開発に取り組みます。

また、清掃工場（環境衛生課）と本庁をオンラインで結び、し尿処理手数料事務の合理化、固定資産の評価と課税事務の効率化を図るため、土地評価基準調査を行い、家屋の全棟調査にも着手し土地や家屋台帳のOA化を引き続き進めます。

第4

新総合計画の策定

7年度は、新しい総合計画を仕

上げる年で、策定には

これまで市民の意識調査、各種まちづくりシンポジウムやアンケート調査、CI幹事会でのまちづくり理念の検討、市民49名で組織された「のほりべつまちづくり夢委員会21」でのあるべきまちの姿の抽出など、様々な形で市民参画を得ながら、素案作成に取り組みきました。

本年は、できるだけ早い時期に市民のみなさんに素案を示し、再度意見をいただき原案の策定を進めていきたいと考えています。

第5

災害に強い

まちづくり

当市は、地形的な特質からたびたび大雨災害に見舞われたため、河川改修や治山、幹線排水路の整備、低地帯の排水対策の重点実施など大雨災害に強いまちづくりを進めてきましたが、地震災害が多発している状況にあって、当市の地域防災計画の見直しを国や道と連携を密にして検討します。

7年度は地震と津波を想定した



▲新総合計画に市民の夢を反映させるため活動した市民組織「のほりべつまちづくり夢委員会21」

職員の非常配備体制やライフラインの確保などのシステムを具体的に検討し、各地区における自主防災組織の結成を促進します。

また、防災パンフレットの作成、地震・津波を想定した総合防災訓練の実施、広報紙やイベントなどを通じて防災対応PRなど市民の防災意識の高揚に努めます。

さらに、防災無線の整備と避難所標識の設置を引き続き行い、北海道と連携して衛星通信システムを活用した情報連絡網を構築するなど、災害に強いまちづくりを推進します。

主要施策

たくましい産業の育成

観光振興は、受け入れ態勢の整備やもてなしなど観光ソフトの充実が課題なので、引き続き観光ボランティアガイドの育成を進め、

本年は、観光ホスピタリティ全道大会を誘致し、市民のホスピタリティ意識の向上を図ります。

また、地獄谷や大湯沼の散策路の整備、老朽化したカルルス駐車場トイレを撤去して、新たな施設の早期設置を図ります。

農業は、農免農道、営農用水などの基盤整備を引き続き行い、観光農業のあり方について、引き続き検討します。



▲4つのテーマパークを巡回する「登別ぐるりんGO」

水産業は、登別漁港と鷺別漁港の整備を促進し、鷺別漁港関連道は、7年度完成を期します。

また、「つくり育てる漁業」を積極的に推進するため、引き続き稚魚や稚貝の育成、放流と貝類に有害な生物の駆除事業に助成を行います。なお、登別川の水质改善を図るため、中和剤の投入による試験調査を行います。

幌別地区の商店街近代化は、北駅前通の整備促進を図るため、引き続き用地補償などの事務を進め富士橋大通り商店街の近代化事業が円滑に推進されるよう支援します。

労働対策は、働く人々の生活安定と福祉の向上を図るため、引き

住みよいまちづくり

道路の整備は、国道36号登別地区拡幅事業の促進を図るため、地権者の理解と協力が得られるよう努めます。

道道は、「緑の回廊事業」として整備が進められている洞爺湖登別線の改良促進、街路の北駅前通り、富士通り、登別温泉通りの用地取得に引き続き協力し、事業の促進に努めます。



▲富士橋大通り商店街の完成予想イラスト図

続き勤労者特別融資事業を行うとともにシルバー人材センターや職業訓練センター事業を引き続き支援します。また、雇用対策支援事業を継続し、パートタイム労働者の労働環境の改善を図るため引き続き講習会を開催します。

市道カルルス路線、カルルス東雲路線、登別富浦路線の改良を促進し、石山通りの改良に着手します。市道街路は、円山通りの二期

計画に着手し、新たに環状通りと新学田通りの調査を進めます。生活道路の整備は、6年度並みの予算を確保し、緊急度の高い箇所から計画的に改良舗装と排水施設の整備を行います。

交通安全施設整備事業費	68,950
千歳最終処分場整備事業費	51,000
清掃工場整備事業費	27,230
し尿処理施設整備事業費	4,210
市道改良・舗装事業費	351,240
市道舗装排水整備事業費	500,000
道道改良受託事業費	1,636,156
河川改修事業費	72,230
公園新設・整備事業費	42,800
街路事業費	142,000
防衛施設周辺整備事業費	33,040
公営住宅改善に要する経費(高齢者・障害者対策)	2,000
公営住宅(登別温泉団地)建替事業費	56,613
公営住宅(桜木団地)建替事業費	6,647
救急自動車購入費	27,824
救急救命士養成経費	4,166
消火栓新設事業費	5,097
消火栓改修事業費	4,900
防火水槽新設事業費	8,320

防災行政無線購入等経費	1,291
防災パンフレット作成経費	2,540
防災総合訓練実施に要する経費	1,000
避難所標識設置費	704
北海道総合行政情報ネットワーク整備事業に要する経費	12,632
公共下水道事業費	1,498,165
終末処理場建設費	423,750
配水池新設事業、配水管布設事業ほか	543,000

【うるおいと思いやりのあるまちづくり】

地域福祉活動促進事業費補助金	7,300
高齢者地域ケア推進経費	1,910
点訳用パーソナルコンピューター購入費	2,550

【創造性あふれる開かれた市政の推進】

O A化推進に要する経費	48,841
国際交流に要する経費	7,580
文化・スポーツ振興財団の設立に要する経費	52,756

市政執行方針

河川の整備は、7年度完成を目指す。2級河川岡志別川の改修事業を行います。

準用河川は、ヤンケンシ川の改修工事を引き続き行い、西富岸川の改修は、第二期計画に着手します。道営住宅は、鷺別団地、登別東団地の建設事業の促進を図り、新たに建設着手される桜木団地の用地を提供します。

市営住宅は、登別温泉団地建替えに着手し、桜木団地建替えの調査を行います。

公園整備は、富岸公園新設事業に着手し、美園地区の河川敷広場を整備します。

亀田記念公園は、樹木や野鳥、昆虫などの表示板を設置し、自然博物館的な整備を進めます。

交通安全対策は、歩行者の安全を確保するため、川上路線、富士54号線の歩道設置を引き続き進め、登別富浦路線、美園57号線に歩道を新設します。

また、若草町の「こ線人道橋」は、両側階段部分を取り替え、凍結防止のヒーターを設置します。踏切改良は、鷺別学田路線の7年度完成を目指し、大型店の進出により交通量が増加している富岸西路線の整備を進めます。

冬道対策は、砂箱の設置、融雪剤散布、特殊舗装などで安全を確保し、ロードヒーティングの設置を検討するための調査を行います。生活環境の保全是、花と緑のあ



▲美園町3丁目鷺別川横の河川敷広場を整備します

るまちづくりを進めるため、引き続き花いっぱい運動などへの支援や緑化イベント事業、市民記念植樹を行い、市街地の幹線道路沿いに草花を植栽し、沿道の美化を進めます。

ごみ処理施設の整備は、千歳最終処分場埋立完了予定を平成10年度とし、ごみの飛散や流出防止のため、7年度は先端部の法面と排



▲花と緑のあるまちづくりを進めます

水の整備を行い、清掃工場の老朽化の著しい灰処理装置や炉などの改修を行います。

下水道の整備は、第三期計画に着手して、登別東処理区の合理的な処理方法を調査検討します。

若山浄化センターは、処理能力を増強するための整備を行います。上水道事業は、美園町地域の配水池を新設します。

消防体制は、水利の充足や資機材の整備を進めるとともに、職員を増員や消防技術の向上を図るための教育と訓練を充実させ、機能の強化に努めます。また、7年度から救急救命士の養成を開始し、登別温泉支署に配置の救急車を準高規格対応車両に更新、救急活動の向上を図ります。

テレビ北海道の難視聴地域解消は、7年度は、登別ミニサテライト局に中継機器を設置し、受信地域の拡大を図ります。

新年度予算

将来にわたる基礎づくりの年

3月17日閉会した平成7年第1回定例市議会で、平成7年度の予算が可決、成立しました。

予算額は、一般会計197億3千50万円、特別会計と水道会計を含めた総額は334億2千4百55万円になり、平成6年度の当初予算と比較するとわずか1.6%の増です。

7年度の予算は、8年度からスタートする新総合計画に基づくまちづくりを視野に入れながら、大きな投資を控え、将来にわたる重要課題への基礎づくりの年と位置づけて編成しています。

【たくましい産業の育成】

(単位：千円)

登別市シルバー人材センター補助金	30,400
勤労者特別融資積立金	265,000
雇用対策救済事業費	33,562
札内営農用水施設整備事業負担金	70,630
来馬第1地区道営農免農道整備事業負担金	33,750
小規模治山事業費	8,000
夕コ産卵礁設置事業補助金	8,750
水産物荷捌き施設整備事業補助金	12,500
鷺別漁港関連道整備事業負担金	15,184
ふるさと食品フェア'95インのぼりべつ補助金	1,000
企業立地振興補助金	25,706
中小企業特別融資積立金	450,000
登別観光協会助成金	22,500
登別観光振興特別対策事業補助金	40,000

【住みよいまちづくり】

テレビ北海道登別ミニサテライト局新設事業費 … 9,054

主な事業の予算額

うるおいと思いやりのある まちづくり

高齢者保健福祉計画は、国から新ゴールドプランが示されましたので、中間年度である平成8年度をめどに見直しを行います。必要な調査を進めます。

福祉と健康づくりの活動拠点「総合福祉センター・しんた21」は、老人

保健福祉週間にデイ・サービス未利用家庭へ浴室を開放します。福祉機器を常時展示し、使用方法や購入方法についての相談を行います。

在宅福祉は、高齢者や障害者に対する福祉・保健・医療などの各種サービスを総合的に推進するため、チームケア活動の充実に努め、保健婦を増員し、ホームヘルプサービスは12時間体制とします。

緊急通報システム

は、新規希望者に計画的に設置し、電話サービス、布団乾燥サービスを引き続き行い、社会福祉協議会が行う「介護者支援体制強化事業」を引き続き支援します。

障害者福祉は、「ふれあい広場」を引き続き支援し、花壇や農園づくり、軽スポーツ・レクリエーションなど「しんた21ふれあい交流事業」を行います。

視力障害者には、休日にもガイドヘル

プサービスを提供し、誘導用点字ブロックの設置を計画的に進め、点訳パーソナルコンピュータを導入します。

在宅心身障害者歯科保健推進事業を継続実施します。

ボランティアセンター事業や小地域ネットワーク活動推進事業を引き続き支援します。

保健意識の高揚を図るため、ヘルスパイオニアタウン事業を引き続き行い、各種検診の受診率の向上に努め、新たに40歳未満の女性を対象にした健康診査と骨粗しょう症の検診を行います。

また、健康づくりのため食生活改善推進員の養成とその組織化を図ります。

子育て支援は、子育てに悩む親の解消を図るため、富士保育所で育児講座を開きます。

また、7年度から小・中学校の休日に第4土曜日も加えられますので第2土曜日と同様、各児童館で体力づくり教室を行います。

厳しい事業運営にある国民健康保険は、国保財政の健全化を進めるため、医療費の適正化や税収入の確保に努めるとともに、予算の許す限り一般会計からの繰り出しを行います。

さらに、国保加入者の健康の増進と疾病の早期発見を図り、短期人間ドックの自己負担額を軽減して受診率の向上を期し、医療費の実態分析を行います。

国際交流は、中学生の海外派遣を継続し行い、デンマーク研修生の受け入れを引き続き支援します。また、

本年は、カナダ・アルバータ州で北海道との姉妹提携15周年を記念する「北海道フェスティバル」が開催されますので、

その機会を活用し登別のPRを行うなど海外交流を進めるとともに、外国語による市内案内の作成や観光従事者への語学研修を行い、外国人受け入れ態勢の整備に努めます。



▲デンマークからの研修生の受け入れを引き続き支援します

創造性あふれる開かれた 市政の推進

広報活動は、市民にわかりやすく親しまれる広報づくりを進めるため、リポーターによる市民の広報紙づくりへの参画を広く、広報モニターの見解やアンケート調査を参考に、広報紙づくりに努めます。また、映像による広報活動を推進するため、引き続き映像記録の保存に努め、テーマを定めて映像広報を作成し提供します。

白石市との姉妹都市交流は両市が友好と理解を深め、共に発展することを期して、交流を深めます。

広聴活動は、市民の声を正しく市政に反映するため、市政懇談会、各種団体との意見交換、市長室フリータイムなどを行い、より多くの市民の意見の把握に努めます。職員研修は、自己研さんや職場内研修の強化を図り、引き続き、道や国への研修への参加や他の機関への派遣研修を行います。

▲総合福祉センターしんた21を拠点に在宅福祉の充実に努めます



▲郷土資料館裏側に「文化伝承館」を建設します

地域の特色ある文化や 恵まれた自然を生かして

交通安全教育は「交通安全教室」を開くなど、交通安全意識の一層の高揚に努め、市内教職員が自主的に組織した「登別市教職員交通安全に努めます。

交通安全教育は「交通安全教室」を開くなど、交通安全意識の一層の高揚に努め、市内教職員が自主的に組織した「登別市教職員交通安全に努めます。

交通安全教育は「交通安全教室」を開くなど、交通安全意識の一層の高揚に努め、市内教職員が自主的に組織した「登別市教職員交通安全に努めます。

交通安全教育は「交通安全教室」を開くなど、交通安全意識の一層の高揚に努め、市内教職員が自主的に組織した「登別市教職員交通安全に努めます。

交通安全教育は「交通安全教室」を開くなど、交通安全意識の一層の高揚に努め、市内教職員が自主的に組織した「登別市教職員交通安全に努めます。

交通安全教育は「交通安全教室」を開くなど、交通安全意識の一層の高揚に努め、市内教職員が自主的に組織した「登別市教職員交通安全に努めます。

交通安全教育は「交通安全教室」を開くなど、交通安全意識の一層の高揚に努め、市内教職員が自主的に組織した「登別市教職員交通安全に努めます。

交通安全教育は「交通安全教室」を開くなど、交通安全意識の一層の高揚に努め、市内教職員が自主的に組織した「登別市教職員交通安全に努めます。

交通安全教育は「交通安全教室」を開くなど、交通安全意識の一層の高揚に努め、市内教職員が自主的に組織した「登別市教職員交通安全に努めます。



▶教育行政執行方針を発表する後藤教育長

教育行政執行方針 (要旨)

学校教育の充実・振興について

学校教育の充実、新たに5校を研究指定校として指定し、一層の教育内容の充実に努めます。

情報教育は、緑陽中学校と札内中学校にコンピュータ機器を導入します。

健康安全教育は、養護教諭を中心とした心の健康相談を充実し、心身ともに健やかな児童生徒の育成に努めます。

社会教育の充実・振興について

安全クラブの活動が実効の場があるよう支援します。

学校給食は、一層献立内容の充実改善を図り、食器の入れ替えと食器消毒保管庫を更新し、衛生管理の徹底に努めます。また、給食費は平成元年度の消費税による値上げを除き、昭和61年度から据え置いてきましたが、消費者物価の上昇などにより現行水準を維持することが困難となりましたので、本年度改定します。

いじめ問題は、既にいじめ相談電話の設置、市内全教職員に対し指導資料を配布するなど指導を行っているのですが、今後とも、学校、家庭、地域の連携を一層密にしその対応に努めます。

国際理解教育は、引き続き、外国青年招致事業、中学生の海外派遣事業を実施し、外国の姉妹校との交流活動を支援します。

障害をもつ児童生徒の教育は、個々の障害の状態や発達段階に応じた適切な指導を行い、教育の一層の充実に努めます。本年度は、幌別西小学校と登別中学校に障害に応じた特殊学級を開設します。

学校週5日制は、新たに第4土曜日が休業日となり、月2回実施されますので円滑に行われるよう指導します。

学校教育施設等の整備について

社会教育の充実・振興について

は、幌別中学校屋内運動場を全面改築し、暖房設備を設置します。

また、幌別中学校の教室暖房を灯油ストーブに切り替えます。

平成8年度をめぐりに「社会教育中期振興計画」を策定し、生涯学習社会の一層の定着と充実・発展に努めます。

成人教育は、マイブランチ講座の奨励、婦人短期大学の学習内容を充実し、活動がより主体的、積極的になされるよう支援します。また、老人大学や大学院の講座内容の充実を図り「世代間交流」や「知恵の派遣」などには、豊富な経験や知識が積極的に生かされるよう奨励・援助します。

郷土資料館は本年度から年末・年始を除き通年開館します。

青少年教育は「ふるさと学習推進事業」の精選と充実を図り、自然体験学習・ボランティア活動など、地域での行事や団体活動に積極的に参加できるよう奨励します。

青少年の非行防止は、昨年「大型店非行防止連絡会」の結成を図り、その対応に努めましたが、一層取り組みの強化を図ります。

自主文化事業は「登別市芸術鑑賞事業実行委員会」の意見と参画

主な教育費など	
教育用コンピュータ導入経費	19,881
幌別中学校暖房設備改修事業費	11,400
幌別中学校屋内運動場改築事業費	390,327
文化伝承館建設事業費	46,200
陸上競技場整備事業費	6,708
食器取替経費	3,917
給食センター整備事業費	20,188

のもとに、香り高い芸術文化を鑑賞する機会を提供します。

また、郷土資料の有効活用と体験学習の場として「文化伝承館」を郷土資料館の隣接地に建設します。

図書館は、本年度図書費を増額しその充実を図るとともに、市民の情報ニーズにこたえるため、全道図書館ネットワークの活用を図るなど、利用者に一層親しまれる図書館運営に努めます。

生涯学習の推進は、アドバイザーを2名体制とし、学習活動を支援します。本年度は「生涯学習実践発表会」を開催し「北海道学習情報システム」を活用するなど、充実した学習情報の提供に努めます。なお、札幌市で開催される「第7回全国生涯学習フェスティバル」に参加し、これまでの成果を発表します。

行政改革に 取り組みます



市は、急速に進む高齢化社会への対応や生活環境、教育環境の整備など今後なすべき課題が山積しています。一方では、財政構造の弱さや多額の債務の償還などで依然として厳しい財政運営が続くものと見込まれます。

このような状況から、限られた財源と人員の中で、新たな行政ニーズに適切に対応し、明日の登別を築き上げるため、簡素で効率的な行政システムの確立に向けて抜本的な見直しを行うため、行政改革に取り組むこととしました。

このため、市は昨年12月に市民の代表による「登別市行政改革推進委員会」を設置し、行政改革の基本的な方針についてご意見等をいただきながら、今年2月「登別市行政改革基本方針」を策定しました。

この基本方針に沿って、どのような行政改革を進めていくのか、その具体的な内容を示した実施計画を、今年の秋ころまでに策定します。

今月号では、2月に策定した「登別市行政改革基本方針」の概要についてお知らせします。

行政改革の 基本方針の概要

1 行政改革の 取り組み方

◆登別市行政改革推進 委員会の設置

行政改革の推進に当たっては、職員一人ひとりがその趣旨を十分認識し、全庁的に一体となって取り組みます。

具体的にどのような行政改革に取り組むか、その基本方針と実施計画（行政改革大綱）の策定に当たっては、経済や教育団体などの代表20名からなる「登別市行政改革推進委員会」を設置し、市民の意見を反映するとともに、その推進状況についても報告を行い行政改革推進委員の助言を得ることとします。

◆行政改革の推進状況 を公表

広報などを通じて、広く市民のみなさんに行政改革推進状況を公表し、理解と協力を得ることとします。

◆行政改革は 5年間で実施

今回の行政改革は、平成8年度を初年度として、概ね5年間で実施します。

2 行政改革で 取り組む6つの項目

① 事務事業の見直し

限られた財源の中で新たな行政課題や社会経済情勢の変化に的確に対応して行くためには、事務事業の見直しを行い、効率的な事業の実施や受益と負担の公平確保を図るとともに、市民サービスの向上から民間委託、事務手続の簡素、効率化などを進めて行かな

ければなりません。

事務事業の整理合理化

行政として、また市民として行うべきことに留意し、効率的・効果的な行政運営を行うため事務事業内容を十分に吟味して、見直しを進めます。

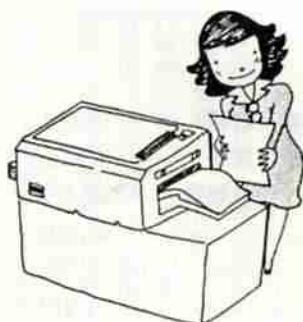
受益と負担の公平確保

市民が受ける行政サービスのうち、特定の事務事業については「市民負担の公平」からみて、その行政サービスに応じて受益者から負担を求めて行く必要があります。

事務事業に係る必要経費との比較など負担の在り方を検討し、使用料・手数料などの見直しを進めます。

行政手続制度の適正な運用

行政手続法による制度の適正な運用を図るとともに、市独自の許認可などについて、市民負担の軽減や行政事務の簡素化を図るため廃止や緩和などを検討します。





民間委託の推進

行政責任の確保、民間の受入体制、市民サービスの維持向上などが図られることに留意し、委託可能な業務から順に委託を進めます。

広域行政圏の活用

他市町村などと、広域的に処理することがより効果的と考えられる事務事業については、広域行政圏などの積極的な活用を図ります。

補助金等の整理合理化

行政の責任分野や経費負担の在り方、行政効果などの精査を行い、補助金などの廃止、統合など整理合理化を図ります。

②時代にあった組織・機構の見直し

時代にあった組織・機構に再編成するため、市の組織・機構の総

点検を行い、部課内の組織や出先機関の統廃合などを進めます。

時代にあった組織・機構

社会経済情勢、地域情勢の変化に対応し市民のニーズに即応した行政サービスを展開できるような組織・機構を見直し、再編成を行います。

外郭団体などの見直し

公社などの外郭団体は、その必要性を十分検討し、設立目的、事業終了したものの統廃合を行い、新設については、活用の意義や基本方針を明確にするなどして、実情に応じた整備を行います。

③定員管理と給与の適正化推進

市民ニーズの多様化に伴って増加する仕事に的確に対応するため、スクラップ・アンド・ビルドの徹底などで適正な定員管理を進めま

す。また、職員の給与についてもその適正化を進めます。

定員適正化計画の策定と推進

これまでの定員管理の実績、今後の仕事の動向や国の定員管理計画などを参考にしながら、将来目標を定め、計画的に定員の適正化を図ります。

適正な定員管理の一層の推進

適正な定員管理を推進するため、事務事業の見直し、組織・機構の簡素化や合理化を行い、新たな仕事に対しては、原則として職員の配置転換によって取り組むとともに、定員状況についても公表し市民のみなさんの理解と協力を得るようにします。

給与制度の適正化

他市長村などのバランスにも留意し、給与制度の適正化などを進めます。

④効果的な行政運営と職員の能力開発などの推進

市民の期待に応え時代の変化に対応できるように、行政運営プロセスへの職員の参加と人材の育成確保を進めます。



職員参加による行政運営

職員総参加による明確な目標設定と効果的な進行管理を徹底し、公務効率の一層の向上を進めます。

政策形成能力、創造的能力を有する人材や専門職の育成と確保

多様化する行政需要に対応できる政策形成能力、創造的能力を有する人材や専門的知識を有する人材の育成・確保を行うよう努めます。

⑤情報化の推進などによる行政サービスの向上

コンピュータなどを活用して、行政の効率化、高度化を図るとともに行政サービスの向上を図ります。

OA化の推進

新しい時代に対応した行政の情報化を推進するため、計画的にパソコンなどOA機器の導入、データベースの構築を進めます。

窓口行政サービスの推進

申請事務などの迅速化を推進するとともに、電算化などにより窓口行政サービスの向上を図ります。

⑥会館など公共施設の設置や管理運営

市民ニーズに対応した効率的・

効果的な施設の管理運営を図ります。

会館など公共施設の施設整備と役割分担の明確化

各地域にある会館など公共施設の役割、機能、運営方法の再検討を行います。

管理委託の推進

会館など公共施設の管理運営は、管理委託可能な施設について委託を推進するとともに、利用料金制度の活用により効果的な施設運営を図ります。

※行政改革Ⅱ行政全般の在り方を見直し、行政の制度運営等について、今まで以上に簡素化・合理化を図るなど改め変えて行くこと。

※ニーズⅡ必要なもの。

※スクラップ・アンド・ビルドⅡ不要なもの・不合理なもの・もうやめてもよいものなどを廃止し、それで浮いた財源などで、より重要な新しい仕事に振り向けること。

※データベースⅡコンピューターを使って検索でき、多目的に利用することができる情報ファイルのこと。



姉妹都市 白石市と 「災害援助協定」を結びました



▲「災害時の相互援助協定書」に調印する上野登別市長(左)と川井白石市長(右)

市は、姉妹都市の宮城県白石市と、阪神大震災のような大規模な災害に備えるため「災害時における相互援助に関する協定」を結びました。

協定の内容は、どちらかの市に大災害が発生した場合、食糧、飲料水や生活物資、被災者救出に必要な機材・物資を提供し、被災者の受け入れや職員派遣などの支援を行うというものです。

この協定は、白石市側の働きかけによるもので、3月14日、調印のため白石市の川井貞一市長が当市を訪問され、「実際に発動することがないよう願いながら」と、両市長が市長応接室で協定書に調印を行い、がっちり握手を交わしました。

私が見た登別

北海道は本州の人にとって あこがれです



ほんだみちこ
本田美智子 さん
(新生町・40歳)



—いつ、どちらから登別に？
昨年8月に夫の転勤で、15年いた愛知県豊田市から来ました。
—豊田市はどんな所ですか
まわりを山に囲まれた自動車のマチです。トヨタ自動車の本拠地で、市名もそこから来ています。4つのトヨタ工場以外にも関連の中小企業がたくさんあります。車好きの人も多く、一家に1台じゃなく1人1台持っているんじゃないかな(笑)。
—登別を知っていましたか
登別温泉は有名ですね。すご

く寒い雪国だと思っていました。
—登別の印象は？
道路が広く、高い建物が少ないので、太陽をまぶしいくらい体感じます。海風も吹いてすごく気持ちがいいマチですね。雪って溶けないんだと初めて思いました(笑)。豊田では、雪は年に2、3回、少しだけ降ります。朝には溶けてしましますよ。
—登別でしたいことは？
子供(1歳と5歳)にとって、親とのふれあいが大切な時期に登別で暮らすので、自然の中で一杯思い出を作りた。札内草原に馬や牛を見に行ってますよ。
—そのほか何か
美しい自然がいっぱいあって、本州の人にとって北海道はあこがれです。美しさの維持には、人の手も少し加えないといけないのかもしれませんが、なるべく自然本来の姿を残してほしいですね。

2月26日、郷土資料館で3月3日のひな祭りを前に「ふるさとひな祭り」の集い」が行われました。
竹や和紙を使ってひな人形を手作りするこの集いには、子供たち約120名が参加しました。
ひな人形は、高さ20センチ程の竹を斜めに切った中に、赤い毛せんを引き、和紙を折って作ったお内裏さまや桃の花などをかわいらしく飾りました。使用した竹は、同館でボランティア活動をしている灰原さんが大分県の知人に送ってもらったものです。
ひな飾りが完成した後は、もちつきを体験。子供たちはついたもちをお汁粉にして食べ、楽しいひとときを過ごしました。

手作りのおひなさま 「第4回 ふるさとひな祭りの集い」



▲「かわいらしくできたでしょう」と完成品を見せてくれた女の子



初心者を対象とした英会話教室が、3月2日から5回にわたり市民会館で開かれました。

講師は、市内の中学校で英語の指導助手をしているクリスティーン・パトリックさん。『生きた英語』を身につけてもらおうと教育委員会が主催しました。

同教室には、20代から60代までの市民20名が参加。テキストを使いながら身振り手振りも加えて、1時間程度英会話を学んでいます。ただ一人の男性参加者安倍嘉孝さんは「初級といっても、やっぱり緊張しますね。これを機会にもっと勉強します」と、クリスティーン先生の講義に耳を傾けていました。



▲ボランティア活動について市長と話しをした市民

市長と自由に語り合う 「市長室フリータイム」

2月28日、市長室フリータイムが行われ、個人4名と2団体6名合計10名の市民が市長室を訪れました。

今回の来訪者は、ボランティアの活動や資源リサイクルシステム、図書館の充実などをテーマに、持ち時間の15分間をフルに使って、市長と気軽に話をしました。

ボランティア活動をしている星川光子さんは「市長さんとお話するのは初めてでしたから、緊張して早口になってしまいました。市長さんと直接会って話しができるこの機会はとても良いことだと思います」と、話していました。

市長室フリータイムは平成元年7月から行われ、年3、4回開催しています。

クリスティーン先生の 「初心者英会話教室」



▶初心者を対象に行われた英会話教室

仲間たち

視力障害者への点訳協力

登別市点訳赤十字奉仕団

代表 伊達豊子さん

(☎852159)



登別市点訳赤十字奉仕団は、昭和61年3月から目の不自由な人のために、図書などの点訳の奉仕を続けています。

女性が21名、男性2名合計23名の会員が、しんた21の点訳図書室へ毎日のように通いパソコン点訳機を使って、点訳作業を行っています。

週に1度の例会では、各自が点訳した内容を校正したり、手引書を引いて勉強を重ねています。このほかの活動は、初心者点字講習会の開催やふれあい広場への参加、視力障害者協会の行事のお手伝いなど、点訳のほかにも視力障害の方との交流を深めています。

結成当時は、点字板に針で一文字ずつ打つたり、左右の3本の指を使って打つカナタイプ使用していましたが、現在はパソコン点訳機が4台とプリンターも設置され、点訳書のコピーも簡単にできるようになりました。

団長の伊達さんは「部数が必要な会議資料などもコピー機で複製できますから、とても便利になりました。パソコン機を使うようになって、結成当時に比べ、作業は迅速化しています。これからも、より早く、より正しく心をかけて取り組んでいきます」と、話してくれました。



きりり

俳優への道、まず一步

「富良野塾」入り決める

は だち きょう すけ
羽立 喬介 さん
(富士町・18歳)

「富良野塾」の第12期生入塾オーディションは、全国からの応募者が240人、合格者19人という、まさに狭き門です。そのオーディションに、市内の高校生が初挑戦して見事合格。今春入塾することになりました。

「富良野塾」は、テレビドラマ「北の国から」などで有名な脚本家・倉本聰氏が主宰する私塾です。全国から集まった若者達が夏の農作業で得た収入で自給自足の共同生活を送りながら俳優、脚本家の勉強をしています。登別市から初の富良野塾生になった羽立喬介さんに話を聞きました。

「なぜ俳優になりたいと思ったのですか」
「高校1年生の時に市民会館で行われた、富良野塾の公演『谷は眠っていた』を観て感動というか、ショックを受けました。その時、これを本気でやりたいと思ったんです。テレビドラマなんかは何回も撮り直しができますけど、舞台は一発勝負で緊張感がありますしね。それと、せりふだけでなく、体全体の動きで表現するところに魅力を感じました」

「オーディションはどうでしたか」
「オーディションは、富良野にある塾で行われました。最初にダンス審査、音感、せりふの本読み、最後に面談でした。面談のときは緊張して何を話したかあまり覚えて

いませんが、「いい声を持つてるね」と言われたのがうれしかったですね。それと、ヒゲのことを聞かれました。ただ単に伸ばしているだけなんですと答えました(笑)」

「将来の目標は」
「まず当面の目標は、2年後の3月に行われる卒業公演に出演することです。その後はせりふがなくても体で表現したり、目線で訴えていくような洪い感じの味がある俳優になることです」
「みなさんに一言」
「こつこつやっていきますので、よろしくお願いします」

いつか、羽立さんの活躍を登別で見たいと思います。今春、羽立さんと同じように自分の夢に向かって飛び立つ若者達の成功を祈ります。頑張ってください。



◀富良野塾公演のワンシーン(写真提供:富良野塾)

友達の輪

わが家の自慢

七宝焼



まさもと あつこ
牧本 敦子 さん
(若草町)

若草町の牧本さんのお宅を訪ねたのは、まだ春も遠い小雪の降る日でした。

牧本さんの趣味は七宝焼。七宝焼は、銅板などにガラス質の釉薬を焼きつける工芸。「昭和47年ころ、友人に誘われて始めたんです。いまも週に1、2回は制作しています」と話してくれました。

さっそく、初期のころに制作したアクセサリーや、昨日作ったばかりという七宝焼の洋服ボタンも見せてもらいました。高温で溶けて色づき、キラキラと輝く作品たちは、それぞれに個性があって、とてもすてきでした。

部屋の中をよく見ると、七宝焼の作品が絵画のように額に入れてたくさん飾られていました。額絵というのだそうです。中で

も目を引いたのが、淡いブルーやピンクに彩られた作品。銀板を使ったというその作品には、



▲銀板を使った七宝焼の作品

清楚な暖かさがありました。

「自分の思いどおりの色が出せるようになるまで、何度も失敗しました。でも何事も、長く続けていくということが大切だと思います」。

作品たちに囲まれ、優しく微笑む牧本さんと話をしていると、とても暖かな気持ちになりました。作品には、作る人の人柄が出るのだなあと感じました。

牧本さんの作品は、JR東室蘭駅西口の浜町ギャラリーに常設展示されています。《市民リポーター 大村 朋子》

となりまち ホットライン

室蘭市



エンルムマリーナで
春風を感じませんか

日差しが暖かく、外の空気が吸いたい季節ですが、そんな時、絵鞆岬にあるエンルムマリーナにきてみませんか。平成4年のオープン以来、海に親しめる施設として、多くの方が訪れています。海上で64隻、陸上で140隻のヨットやボートが収容でき、センターハウス（木曜定休）は、展示室やマリンショップ、ティーラウンジなどがあります。4月29日から5月7日までイルミネーションが点灯する白鳥大橋も、この辺りから見ると圧巻です。隣には絵鞆臨海公園が広がり、カップルでも家族連れでも楽しめるスポットです。

※白鳥大橋のイルミネーションは、祝日や年末年始など年30日程度点灯します。

▶問い合わせ 広報広聴課 ☎1111

伊達市



第8回春の合宿村まつり
サッカーフェスティバル
開催

第8回目を迎えた春の合宿村まつりは、4月2日(日)の全道一早い「春一番伊達マラソン大会」に続いて、道内高校の強豪チームを招いて、「サッカーフェスティバル(第3回伊達スプリングカップ)」を開催します。

▶日時 4月15日(土)14:30~17:00、4月16日(日)9:00~17:00

▶場所 伊達高グラウンド、舟岡運動広場(サブ会場・伊達中グラウンド)

▶参加予定校 室蘭大谷高校、登別大谷高校、札幌日大高校、札幌光星高校、北星新札幌高校、函館稜北高校、伊達緑丘高校、伊達高校

▶問い合わせ 伊達サッカー協会事務局(伊達市役所内・武川 ☎0142233331)

新入学(園)児を 交通事故から守りましょう



春、新入学(園)児が、町を歩き始めます。

毎年、全国で1万人を超える新入学(園)児が交通事故で死傷しています。子供の交通安全を確保するのは、大人の責任です。お父さん・お母さんは、お子さんをしっかり指導して、ドライバーのみならず、やさしい運転をお願いします。

市の幼稚園・小学校・中学校は 第4土曜日も休みになります



4月からの幼稚園・小学校・中学校は、学校教育法施行規則の改正によりこれまでの毎月第2土曜日に加え、第4土曜日も休業日になります。

フレッツシユ ボイス

高校を卒業した平成4年4月に入社、最初のころはお土産の売り場を担当していた恵子さん。お客様に苦情を言われショックを受けたこともあるが、反対にお客様が「また来ますよ」とニコニコして帰った時はうれしくなる」といい、顔をほころばす。

現在は総務経理課で会計、受付、接待を担当している。人に接することが好きで進路選択に迷いはなかったよう。

休日には、家でビデオなどを見て体をリフレッシュする。

これから本格的な観光シーズンを迎える「マリンパーク・ニクス」のおすすめイベントはこの夏間に「4月29日から5月7日までのゴールデンフェスティバルとして夜空に繰り広げられる『オーロラショー』です」と、明るい笑顔が光った。



ます じん けい こ
舩 甚 恵 子 さん (新川町・21歳★やぎ座★) 株式会社北海道マリンパーク勤務



いっしょになっても 生涯学習

高齢者の生涯学習

老人大学院から博士誕生

高齢者の生涯学習は、自ら学ぶことでこれからの人生を一層明るく、豊かに過ごすことが第一であります。が、長い人生の中で培った貴重な知識・技能・知恵を次の世代に伝えることも大事なことです。

今月号は、老人大学と老人大学院の活動について紹介します。



▲老人大学院終了式の様子

3月17日に行われた、老人大学院の修了式では、終了生19名に博士号が贈られました。
博士号は、石づくり博士・つけもの博士・紙芝居博士・料理博士・替え歌博士・文化伝承博士・おもちゃづくり博士・手芸仕立博士など得意分野にちなみ、ユニークな名称が付けられています。

ご利用ください

ひとりで悩まず教育相談
希望のダイヤル ☎ 1255

子育てアドバイス
生きがいダイヤル ☎ 1818

ひとりで悩まずマズ相談
いじめ相談電話 ☎ 0085

(生涯教育推進室)

老人大学院では、登別市の歴史を調査・研究し、3巻の紙芝居にまとめ上演したり、市内の学校の校庭の樹木の手入れなどのボランティア活動を行っています。
また、これまで身につけた知識や技能を生かして子供たちや市民を対象にしたイベントなどで、昔の食べ物体験や遊び体験の道具づくりを指導するなど、「知恵の派遣事業」を積極的に実行しています。



鬼大使 FAX 通信...⑪



ジル・ウーキーさん
(イギリス・プール市在住)

平成4年から1年間英語指導助手として市内の中学校や市民英会話教室などで語学指導。平成5年7月から登別市ふるさと大使。

イギリスのエイプリル・フル

イギリス人はユーモアをとっても大切にします。でもイギリス人のジョークは独特で、同じ英語を話すアメリカ人とはお互いのジョークが理解できないと言われています。

4月1日のエイプリル・フルはそんなイギリス人にとってとりわけ特別な日です。友人や家族、同僚などにでたらめなことを言って、言われた人がそれを信じたら「エイプリル・フル！」と叫びます。

私が学生時代にどんないたずらをしたかは内緒です。もしも登別の生徒たちがそれをまねたら、きっと先生たちは愉快ではありません。

このユーモアはマスコミも大好きです。数年前、国営テレビのリポーターが12本の木を大量のスパゲティで飾り「スパゲティのなる木がある」と言ったところ、数百人もの視聴者から「どこでその木を育てるのか」という問い

合わせがありました。でも、その日が4月1日だったので、みんな一杯食わされたことに気づいたのです。

昨年は、ある新聞が「ベルギーが二つの国に分割された」と第一面で報じ、それを信じたある政治家がテレビでこれについてコメントしていました。これがエイプリル・フルのジョークだとあとで知ったこの政治家の困惑はいかばかりであったでしょうか。

Happy April Fool's Day



▲プールのウォーターフロント

登別小学校高等科2年を、大正12年(1923)に卒業した真志保(通称真志保)は、室蘭中学校入学者150名中3番目の優秀な成績で合格した。

入学後の学級長は、成績順位で決めるので真志保は3番目の3組の級長になった。入学後の成績も、特に英語は開校以来の実力者と言われ、数学・国語力も抜群、学年トップの学力者であったが、アイヌでありリーダーとして表面に出ているは目立つので、真志保は故意にある科目

の成績を下げ、学年では20番程度を維持していた。

その下げた科目は体操であった。当時の体操の内容は、武道(剣道か柔道)・軍事教練・体操となっていた。

武道は兄の高史(通称高史)が室商で剣道をしていたので、彼は柔道を選び、兄には負けたくないと思っていた。登別神社(現在の花園神社)の祭典角力に出て、得意であったようである。

しかし、学校の教練や体操の間は全員に号令をかけ、指揮命令するなど目立つ存在であったため、

郷土史 点描

<59>

登別郷土文化研究会 宮武 紳一

知里真志保を訪ねて(3)

生い立ち・中学時代のひとこま

苦痛な時間は欠席することにより点数を下げていたらしい。体操は、甲・乙・丙のうち、最低の丙であった。

中学時代の保証人は、室蘭地方の老舗種物店・金澤屋の主人金澤又助だった。

金澤屋は、室蘭駅前通りより一段高い室蘭八幡神社前の道路、旧札幌通りを西北側に進む海岸町山手側にあった。

この古い木造2階建ての大きな建造物は、文化的価値のあるものだが6年程前に残念ながら取り壊された。

ところで、当時、通信箋は保証人に見せて印鑑をもらう必要があったので、金澤屋のご主人に見せなければならなかったが、体操の評



▲知里真志保が学んだ当時の室蘭中学校校舎

定の丙は一寸と情けない。それで、考えて丙のところをナイフで削り、甲と書き変えたのを見せ、保証人の関門は通過した。しかし、そのまま学校に提出し、担任に見つかって大変な叱責を受けた。このことは、「室中四八会誌」に当時の英語担当・榎俊三郎の「知里真志保君のこと」として記載されている。

アイヌ語地名の大家山田秀三が真志保の保証人金澤又助にあった時のお話しを私も聞いたが「彼がしよつちゅう学校を休んだので、学校との関係で困ったことがありました。でも随分と偉い学者になったのですね」と言う話であった。

特に、上級生になってからの欠席が多く、5年

生に進学をするときは1年間休学し、卒業までに6年かかっている。これは、前記の「表面に立つこと」を嫌った理由ではなく、経済的理由から学校を休んでいたのである。

室中同窓生発行の白鳥会会報に、「白鳥湾(室蘭港)にみなぎる剛

健の気風として「文学者八木義徳」「天才アイヌ語学者知里真志保」を大見出しで紹介しているが「知里は、月謝に困ると学校を休む」という見出しも見られる。

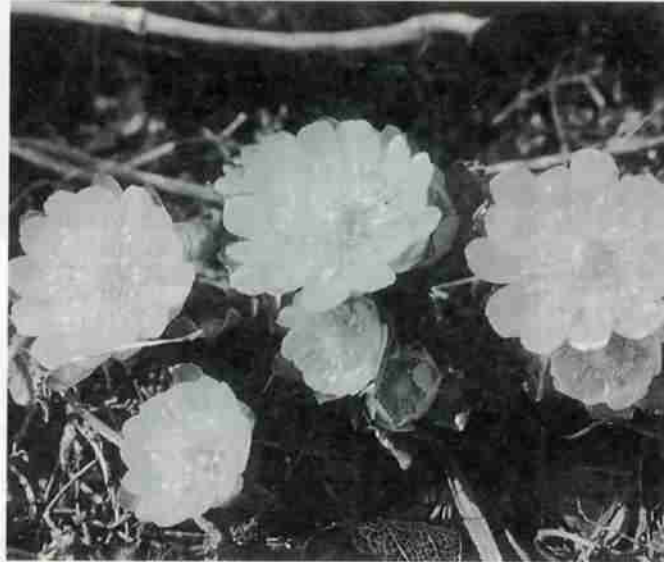
会報には「アイヌ出身者という世間の好奇心な目を浴びながら一高東大に進む。やがて『分類アイヌ語辞典』という不世出の労作で、アイヌ語学者の地位を不動のものにするが、彼の人生は『差別と貧困』を生涯の敵としていた」と記載されている。

当時、兄の高史も小樽商業専門学校(現在の小樽商大)に進み知里家の家計は大変であった。それにしても、52歳の生涯を通して、多数の本を著したが、最初の著書は、登別から汽車通学をしていた室中時代のものである。

題名は「山の刀襦・浜の刀襦物語」で、刀襦はいろいろの訳があり、和訳は村長・里長の意味もあるが、内容は四方やま話のようなものである。

アイヌ語では「バナンベ・ペナンベ・ウエベケル」で、真志保は「川下の者・川上の者の昔話」と言い、分かりやすく言う「正直爺さん・意地悪爺さん」の形で「川下の良い爺さん、川上の悪い爺さんの物語」で、結果は川下の良い爺さんが成功する話なのである。

まちかどぶらり



春到来を告げる福寿草

片倉町

片倉町の佐々木さん宅の庭に咲く福寿草。佐々木さんが15、6年前に購入して植えた福寿草で、毎年2月末ころから雪を割って、小さなつぼみが顔を出します。

日差しを浴びながら花開く福寿草は、道端に黄金色の光をちりばめ、春の訪れを告げています。今月上旬まで、道行く人々たちを楽しませてくれます。

北海道知事選挙及び北海道議会議員選挙 不在者投票時間の訂正

先にお送りした北海道知事選挙及び北海道議会議員選挙投票入場券の裏面に記載している不在者投票の時間について、「午後8時30分から午後5時まで」とあるのは「午前8時30分から午後5時まで」の誤りでした。訂正しておわび申し上げます。

登別市選挙管理委員会

人のうごき

- 人口 57,375(-20)
- 世帯 22,334(-19)
- ()は前月比

平成7年2月末日現在

鳥名 ヒバリ(夏鳥)
観察時期 3月下旬から10月下旬



(文・写真提供 日本野鳥の会会員ヨシキリの会)

僕はヒバリ。今年も北国に僕の明るい春の声を届けます。草原の春告鳥を自認する僕は、持って生まれた美声と声量で「ピーチク・ピーチク・ピーチクチュク」と、彼女に熱烈なラブソングを贈るんだ。広い畑や川原の草地の上で、必死に羽根をふるわせ、空中で停止しながらプロポーズする僕のひたむきな姿に、彼女の心はもう僕から離れられないんだ。

僕らの愛の巣は、地上の草株の影などにつくるから夫婦でいると目立ちちゃって、外敵に狙われやすいんだ。だから外見の茶褐色は、敵の目をカモフラージュするため、派手なさえずりと違って、とっても地味なんだよ。僕らのひなは、ふ化後8、9日で巣立ちします。木のうえに巣作りする他の仲間のひなより巣立ちは早いんだ。地上に巣作りする鳥の身には危険がいっぱいだから、早く自力で飛べるように、体の中で翼の部分が一番早く完成するんだよ。ところで、ヒバリの名前の由来って知ってる？お天気が悪くても僕たちがさえずり出すと「日が晴れる」と言われ、どこかの地方で「日晴る」から「日晴り」になっちゃったという説があるらしいんだ。僕の明るく晴れやかなキャラクターにぴったりのことじゃない。



この広報紙は再生紙を使用しています。